

## NEWS RELEASE

**【DMT2023 事後レポート】**  
**大阪音楽大学ミュージックビジネス専攻、**  
**1年生は電子楽器のオーケストラに挑戦！**  
**2年生は「音と触覚によるお化け屋敷」**  
**「音が鳴るカステラ店」等、**  
**音楽とテクノロジーの新たな取り組み**

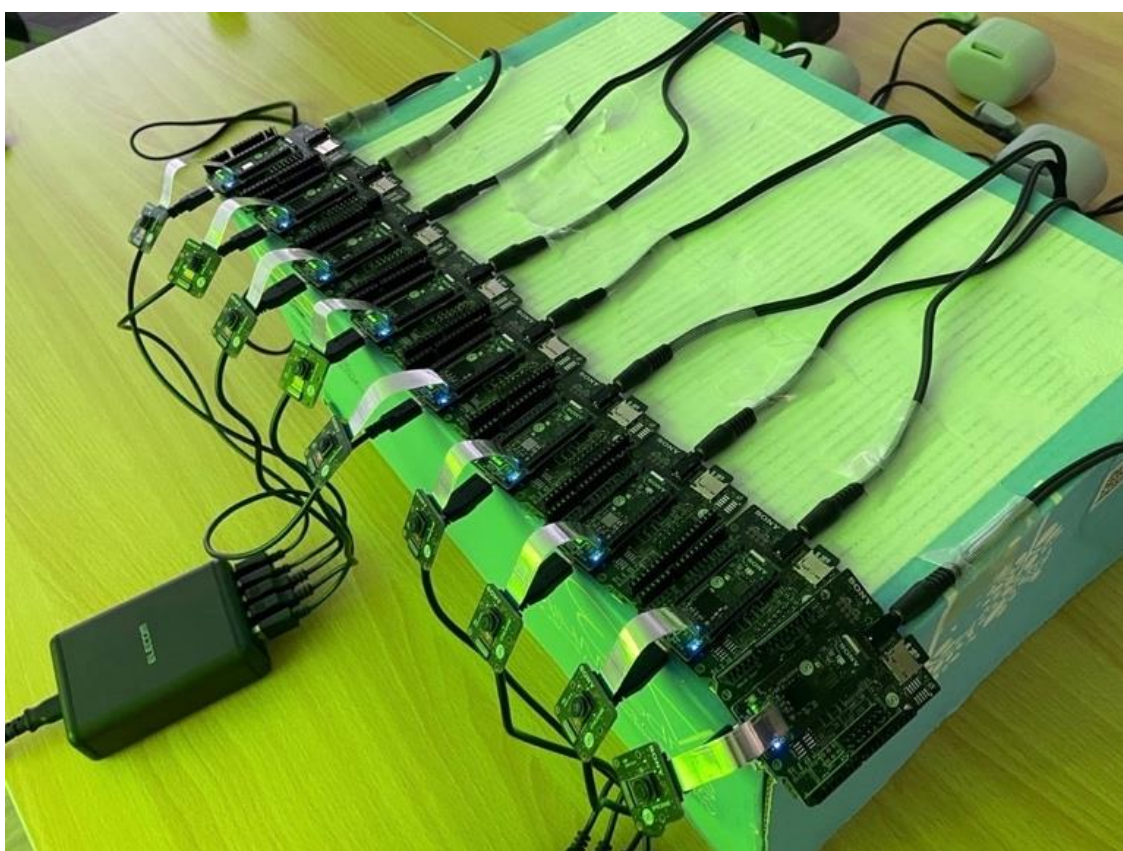


「DAION MUSIC TECH 2023」

大阪音楽大学（所在地：大阪府豊中市、学長：本山秀毅）ミュージックビジネス専攻（以下MB専攻）は、2023年11月3日（金・祝）に開催した「DAION MUSIC TECH 2023」において、ボードコンピューター「SPRESENSE™」を用いた演奏を行いました。

#### 【1年生の発表】

MB専攻1年生は「WEBマーケティング基礎II」（太田智美助教）の講義で学んだ知識を活かし、カメラ機能で「色」を認識し「音」を出すプログラムを作成。4つのチームに分かれて「どんぐりころころ」「アルプス一万尺」「牛若丸」「たなばたさま」をそれぞれ演奏しました。「DAION MUSIC TECH 2023」開催までの2ヶ月、各チームはプログラミングのほかにも、ボードの見せ方やSPRESENSEの説明、来場客を楽しませる演出など様々な準備を進め、当日は工夫を凝らした発表を行いました。



低消費電力のIoT向けボードコンピューター「SPRESENSE」

- たなばたさま (チーム ten)



短冊を教室に飾り、たなばた伝説を劇にして披露したチーム ten。彦星や織姫が登場する作り込まれた演劇に思わず見入ってしまう観客もいました。

- アルプス一万尺 (チームばんぷきんず)



様々なレベルのアルプス一万尺を披露したチームばんぷきんず。アルプス一万尺と SPRESENSE を駆使したオリジナルゲームも行い、観客も巻き込んで和気藹々とした雰囲気となりました。

- どんぐりころころ (チームころころ軍団)



特定の色を見せると演奏を停止、再生できる機能を利用して椅子取りゲームを開催したチームころころ軍団。教室は大盛り上がりを見せ、笑顔が溢れました。さらに実際のどんぐりや松ぼっくりを使用してボード台を装飾、見た目から秋の訪れを感じる発表となりました。

- 牛若丸（チームおにぎり）



のちの源義経（幼名・牛若丸）が家臣である弁慶と出会った時の様子を「牛若丸」の歌詞にのせて劇として紹介したのはチームおにぎり。複雑なSPRESENSEの説明も模索し、噛み砕いたわかりやすい発表になりました。

### 【2年生の発表】

MB専攻2年生は、「音楽テクノロジーII」（太田智美助教）の授業と連動し、7チームに分かれて音とテクノロジーを融合した出し物を企画から全て学生が考え実行しました。

1チーム目は、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 Embodied Media プロジェクトから技術提供いただき、音と触覚によるお化け屋敷を展開。大学内に来場者の悲鳴が響きました。



お化け屋敷の外観

2チーム目は、1年生と同じくソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社から技術協力を得て、平成初期の雰囲気を感じる写真が撮れるスポット「-NEO平成-」を展示しました。平成初期を思い出させるビデオカメラの画質の悪さを利用し、懐かしさを感じる写真を撮ることができました。



ビデオカメラを使用して写真を撮る様子

3～6チーム目はエレクトロニコス・ファンタスティコス！京都 Orchest-Lab から企画協力を行い、各チームでバーコードを使った出し物を行いました。3～5チーム目はバーコードの縞の数が多いほど音は高くなり、少ないと音が低くなるという構造を使っています。

3チーム目は、テレビに映し出したカラオケの画面にバーコードで作った音階を貼り、音楽に合わせてバーコードをスキャンして音を鳴らすというゲーム「バーチャン」を行いました。音楽のスピードのレベルもたくさんあり、楽しい笑い声が溢れていました。



「バーチャン」に挑戦している様子

4チーム目は、扇風機の中にバーコードを縞の数をピアノと同じになるように設置し、扇風機のバーコードをスキャンすると楽器になるという「Have FAN」を展示しました。たくさんの方が体験しにきてくださり、楽しい会場となりました。



「Have FAN」を演奏している様子

5チーム目は、卵や小麦粉などの商品に縞の数が違ったバーコードをつけ、商品をスキャンすると音楽が演奏できる「スーパーマーケットドレミ」を展示しました。特に小さいお客さまに人気があり、家族で楽しまれている様子が伺えました。



「スーパーマーケットドレミ」を体験している様子

6チーム目は、バーコードの縞の数を1列の中で変え、スキャンしてみると言葉をしゃべっているように聞こえる構造を使用し、たくさんの問題が用意された「ワーコード」を展示しました。バーコードにも簡単なものから難しいものが準備されていたので、来場者同士で何と聞こえるのか話し合いながら楽しむことができました。



「ワーコード」を楽しむ様子

7チーム目は、1年生も使用していた「SPRESENSE」を使いました。

1年生と同じようにカメラ機能で色を認識して音を出すプログラミングをして、いろんな色のコップに反応するように設定して、その中に美味しいカステラを入れて音符のようにした「カステラーズ」を展開。美味しいカステラも食べられて楽しく音楽も奏でられるこのお店は来場者に人気の店となりました。



「カステラーズ」の様子

「DAION MUSIC TECH 2023」は一般の方にもご来場いただき楽しみました。1年生も2年生も準備してきたものを楽しんで披露できたのでとても良いイベントになりました。



(左) 一般の方も来場し盛り上がった会場



(右) 閉会式

#### 【大阪音楽大学 ミュージックビジネス専攻について】

音楽・エンタテインメントビジネスのプロフェッショナルの育成を掲げ、2022年4月開設。専攻コンセプトは「音楽×テクノロジー×ビジネス」。音楽大学としての知見やスキルに加え、ICTやビジネス領域も学ぶことで、今後の日本において改めて産業としての期待感が高まる音楽・エンタテインメント業界のプロフェッショナルを育成・輩出し、21世紀の社会に貢献します。

#### 【大阪音楽大学について】

2015年に創立100周年を迎えた関西唯一の音楽単科大学。「音楽で、はたらこう。」「ちから強く生きる音楽人を、ここから。」をスローガンに、従来のクラシック音楽家の育成にとどまらない、クリエイターやプロデューサーの輩出を掲げた新専攻・コースを次々と設置し、大学15専攻・短大11コースを擁する“音楽の総合大学”としていち早く時代のニーズに応えています。

#### 【関連 URL】

ミュージックビジネス専攻

<https://www.daion.ac.jp/mb/>

#### 【本リリースに関するお問合せ先】

大阪音楽大学 広報統括事務室

TEL：06-6334-2904（不在の場合はメールでご連絡ください。折り返しお電話いたします）

e-mail：[koho@daion.ac.jp](mailto:koho@daion.ac.jp)

※SPRESENSE は、ソニーグループ（株）またはその関連会社の登録商標または商標です。